

福岡県立総合射撃場個別施設計画について

【施設の概要】

対象施設	福岡県立総合射撃場		
所管	教育庁教育振興部体育スポーツ健康課		
整理番号	63	竣工年度	平成元年度
所在地	福岡県筑紫野市大字袖須原 2 2 3 - 2 5		
敷地面積 (m ²)	143, 131. 27	建築面積 (m ²)	2, 410. 42
主構造	S	延床面積 (m ²)	2, 410. 42
主要建築物	管理棟、エアライフル棟、スモールボアライフル棟		

福岡県立総合射撃場はとびうめ国体の開催を契機に設置され、散弾銃射撃及びライフル射撃の普及振興並びに射撃技術の向上を図り、心身の健全な発達に寄与することを目的としています。

【個別施設計画の策定単位】

福岡県立総合射撃場の個別施設計画については、当該施設を構成する建築物を①管理棟、②エアライフル棟、③スモールボアライフル棟の3つに分け、それぞれについて今後の改修等に関する計画を策定しました。

福岡県立総合射撃場
管理棟
個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	6 3
施設所管課	教育庁教育振興部 体育スポーツ健康課

令和2年2月

❀ 福 岡 県 ❀

福岡県立総合射撃場管理棟
個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(1) 対象施設の概要	
	(2) 対象施設の活用状況	
	(3) 計画期間	
	(4) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(1) 施設間の優先順位	
	(2) 施設内での優先順位	
	(3) その他	
第3章	個別施設の状態等	4
	(1) 個別施設の状態	
	(2) 施設の現存率	
	(3) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(1) 改修・更新について	
	(2) 対策の平準化について	
	(3) 対策の内容等	

第1章 概要

(1) 対象施設の概要

対 象 施 設	福岡県立総合射撃場		
所 管	教育庁教育振興部体育スポーツ健康課		
整 理 番 号	63	竣工年度	平成元年度
所 在 地	福岡県筑紫野市大字柚須原223-25		
敷 地 面 積 (m ²)	143,131.27	建築面積 (m ²)	2,410.42
主 構 造	S	延床面積 (m ²)	2,410.42
主 要 建 築 物	管理棟、エアライフル棟、スモールボアライフル棟		

(2) 対象施設の活用状況

建 物 の 名 称	管理棟				
棟 番 ・ 枝 番	1013	-	1	竣工年度	平成元年度
建 築 面 積 (m ²)	334.11		延床面積 (m ²)	334.11	
構 造 ・ 階 数	RC造 地上1階				
各 階 面 積 及 び 用 途					
階別	階床面積 (m ²)	主 な 用 途 (室 名 他)			
1F	334.11	事務室等			

福岡県立総合射撃場の管理棟はとびうめ国体開催にあたり、平成元年度に竣工しました。

散弾銃射撃およびライフル射撃の普及振興並びに射撃技術の向上を図り、心身の健全な発達に寄与することを目的とした施設となっています。

(3) 計画期間

計画期間は令和8年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図



②施設写真

全景



第2章 優先順位の考え方

(1) 施設間の優先順位

当該施設は、築30年で目標使用耐用年数である65年に満たないことから、計画期間中の更新は計画していません。他の県有施設と比較して改修等を優先すべき個別事情は特にありませんが、施設を管理していく上で必要な対策を順次適切に行っていきます。

(2) 施設内での優先順位

全体的に経年による劣化が進行している状況です。また、トラップ射撃場前の屋外トイレが老朽化していることに加え、バリアフリー化にも対応していないため、優先的に整備します。

その他老朽化が見られる設備等においても予防保全型管理のうえでの標準的な改修時期に合わせた計画的な改修を行っていきます。

(3) その他

敷地内には管理棟のほか、エアライフル棟、スモールボアライフル棟があります。

第3章 個別施設の状態等

(1) 個別施設の状態

目地やシーリング材の劣化を始め、全体的に経年による劣化が進行しています。

施設設備の不具合等が発見された場合には事後保全による修繕を行っていますが、予防保全による改修はできていない状況です。

(2) 建物全体の現存率

建築物現存率調査票

施設名称	福岡県立総合射撃場		建物名称	管理棟						
所在地	筑紫野市大字袖須原223-25		棟番・枝番	1013	-	1	築年数	30年		
建築年度	平成元年度	建築面積	334.11 m ²		現存率	74.7	想定耐用年数	65年		
構造・階数	RC 1	延面積	334.11 m ²							
区分	構成(P)		仕様	経過年数	現象(K)	×100	(PK)	$\frac{\sum PK}{\sum P}$		
構造	躯体	40	S	30	1.000	100.0	4,000.0	-		
	小計							4,000.0	100.00	
主要部仕上げ	屋根・防水	20	スレート瓦屋根	30	0.533	53.3	1,066.0	-		
	外壁	20	塗装、その他	30	0.500	50.0	1,000.0	-		
		小計							2,066.0	51.65
電気設備	受変電設備	10		30	0.600	60.0	600.0	-		
	小計							600.0	60.00	
機械設備	給排水・衛生・給湯設備	10	H11_浄化槽設備工事	20	0.800	80.0	800.0	-		
	小計							800.0	80.00	
合計							7,466.0	74.66		

この結果、福岡県立総合射撃場の管理棟の現存率は「74.7」となります。

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の現存率	判定項目	判定
躯体	S	100.0	耐震診断による Is 値 ¹	Is 値が 1.0 以上 もしくは新耐震基準
屋根	スレート瓦屋根	53.0	防水層からの漏水 またはその痕跡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に少しずつの劣化がある ・ 多数の部材に各々少しずつ劣化部分がある ・ 部分修繕でも対応可能
			防水層の劣化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に少しずつの劣化がある ・ 多数の部材に各々少しずつ劣化部分がある ・ 部分修繕でも対応可能
			経年（新設もしくは改修後）	経年 20 年以上
外壁	塗装 その他	50.0	外壁のはく落、浮き、 ひび割れ等の劣化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に多くの劣化がある ・ 少数の部材にも多くの劣化部分がある ・ 大規模修繕が必要
			漏水の発生・痕跡の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に少しずつの劣化がある ・ 多数の部材に各々少しずつ劣化部分がある ・ 部分修繕でも対応可能
内壁	石こうボード EP	80.0	劣化	仕上げ材等の劣化が多く認められるが、 部分修繕で対応可能
天井	化粧石こうボード	80.0		
床	ビニールシート張り	60.0		
建具	木製	70.0	劣化	仕上げ材等に劣化が部分的に発生しているが機能上問題なし
			開閉作動・取付け状態	仕上げ材等の劣化が多く認められるが、 部分修繕で対応可能

¹ Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
電灯・電話設備	電灯設備 電気時計 拡声設備 避雷設備 電話設備	60.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
受変電設備	あり	60.0	定期点検等の結果	
			経年（新設後更新後）	経年 25 年以上
自家発電設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—
動力設備	動力設備	20.0	経年（新設後更新後）	経年 25 年以上
非常用照明・ 火災報知設備	非常用照明 火災報知設備	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 15 年以上
その他設備	インターホン TV 共同受信 防犯設備等 表示設備	20.0	経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
空気調和・換 気・排煙設備	空気調和設備 換気設備 排煙装置	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 15 年以上
給排水・衛 生・給湯設備	給排水設備 衛生設備 給湯設備	80.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 10 年以上
消火設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—
エレベーター 設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—

(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値				
1989	30	新	—	—	—	—	65 年

経年による部分的な劣化は見られるものの、建物に大きな問題が無いため、福岡県立総合射撃場の管理棟の目標耐用年数を原則どおり 65 年(残年数を 35 年)と設定します。

第4章 対策の内容等

(1) 改修・更新について

築30年で耐用年数を65年と設定しているため、残利用年数は35年となり、計画期間に施設の更新（建替え）を行う予定はありません。

(2) 対策の平準化について

トラップ射撃場前の屋外トイレの老朽化が激しく、また、バリアフリー化にも対応していない状態であるため、当該トイレの改修を優先的に行います。

その他優先順位の考え方に沿って、費用や事務負担軽減等を図る観点から平準化を行い、順次改修を行うこととします。

(3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取組みは以下のとおりとなりますが、取組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことがあります。

(百万円)				
区分	項目	実施時期		
		令和元～2年度	令和3～5年度	令和6～8年度
主要部仕上げ	屋根・防水、内壁、天井、建具	0	6	13
電気設備	電灯・電話設備、自家発電設備、動力設備、非常用照明・火災報知設備、その他の設備	0	9	10
機械設備	給排水・給湯・ガス設備、空気調和・排煙設備、消火設備、エレベーター	0	3	9
その他	階段昇降機等	29	0	0
計		29	18	32

※上記は実際の前算や事業費等とは異なります。

福岡県立総合射撃場
エアライフル棟
個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	63
施設所管課	教育庁教育振興部 体育スポーツ健康課

令和2年2月

❀福岡県❀

福岡県立総合射撃場エアライフル棟
個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(1) 対象施設の概要	
	(2) 対象施設の活用状況	
	(3) 計画期間	
	(4) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(1) 施設間の優先順位	
	(2) 施設内での優先順位	
	(3) その他	
第3章	個別施設の状態等	4
	(1) 個別施設の状態	
	(2) 施設の現存率	
	(3) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(1) 改修・更新について	
	(2) 対策の平準化について	
	(3) 対策の内容等	

第1章 概要

(1) 対象施設の概要

対 象 施 設	福岡県立総合射撃場		
所 管	教育庁教育振興部体育スポーツ健康課		
整 理 番 号	63	竣工年度	平成元年度
所 在 地	福岡県筑紫野市大字柚須原223-25		
敷 地 面 積 (m ²)	143,131.27	建築面積(m ²)	2,410.42
主 構 造	S	延床面積(m ²)	2,410.42
主 要 建 築 物	管理棟、エアライフル棟、スモールボアライフル棟		

(2) 対象施設の活用状況

建 物 の 名 称	エアライフル棟				
棟 番 ・ 枝 番	1013	-	2	竣工年度	平成元年度
建 築 面 積 (m ²)	1,298.32		延床面積(m ²)	1,298.32	
構 造 ・ 階 数	S造 地上1階				
各 階 面 積 及 び 用 途					
階別	階床面積(m ²)	主 な 用 途 (室 名 他)			
1F	1,298.32	エアライフル射撃場			

福岡県立総合射撃場のエアライフル棟はとびうめ国体開催にあたり、平成元年度に竣工しました。

エアライフル射撃の普及振興並びに射撃技術の向上を図り、心身の健全な発達に寄与することを目的とした施設となっています。

(3) 計画期間

計画期間は令和8年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図



②施設写真

全景



第2章 優先順位の考え方

(1) 施設間の優先順位

当該施設は、築30年で目標使用耐用年数である65年に満たないことから、計画期間中の更新は計画していません。他の県有施設と比較して改修等を優先すべき個別事情は特にありませんが、施設を管理していく上で必要な対策を順次適切に行っていきます。

(2) 施設内での優先順位

経年により劣化が進行している設備についても予防保全型管理のうえでの標準的な改修時期に合わせた計画的な改修を行っていきます。

(3) その他

敷地内にはエアライフル棟のほか、管理棟、スモールボアライフル棟があります。

第3章 個別施設の状態等

(1) 個別施設の状態

外壁全面で汚れや仕上材の腐食など外装の老朽化が目立つ状況にあり、ギャラリーの天井において漏水痕も見られます。

施設設備の不具合等が発見された場合には事後保全による修繕を行っていますが、予防保全による改修はできていない状況です。

(2) 建物全体の現存率

建築物現存率調査票										
施設名称	福岡県立総合射撃場			建物名称		エアライフル棟				
所在地	筑紫野市大字袖須原223-25			棟番・枝番		1013	-	2	築年数	30年
建築年度	平成元年度		建築面積	1,298.32	m ²	現存率	68.0	想定耐用年数	65年	
構造・階数	S	1	延面積	1,298.32	m ²					
区分	構成(P)		仕様	経過年数	現象(K)	×100	(PK)	ΣPK/ΣP		
構造	躯体	40	S	30	1.000	100.0	4,000.0	-		
	小計						4,000.0	100.00		
主要部仕上げ	屋根・防水	20	その他	30	0.400	40.0	800.0	-		
	外壁	20	塗装、その他	30	0.400	40.0	800.0	-		
	小計						1,600.0	40.00		
電気設備	受変電設備	10		30	0.600	60.0	600.0	-		
	小計						600.0	60.00		
機械設備	給排水・衛生・給湯設備	10		30	0.600	60.0	600.0	-		
	小計						600.0	60.00		
合計							6,800.0	68.00		

この結果、福岡県立総合射撃場のエアライフル棟の現存率は「68.0」となります。

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の現存率	判定項目	判定
躯体	S	100.0	耐震診断による Is 値 ²	Is 値が 1.0 以上 もしくは新耐震基準
屋根	その他	40.0	防水層からの漏水 またはその痕跡	—
			防水層の劣化	—
			経年（新設もしくは改修後）	経年 20 年以上
外壁	塗装 その他	40.0	外壁のはく落、浮き、 ひび割れ等の劣化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に多くの劣化がある ・ 少数の部材にも多くの劣化部分がある ・ 大規模修繕が必要
			漏水の発生・痕跡の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に多くの劣化がある ・ 少数の部材にも多くの劣化部分がある ・ 大規模修繕が必要
内壁	石こうボード EP	40.0	劣化	仕上げ材等の劣化が 広範囲にあり、部分修繕が必要
天井	化粧石こうボード	60.0		
床	ビニールシート張り	60.0		
建具	木製	80.0	劣化	仕上げ材等に劣化が部分的に発生しているが機能上問題なし
			開閉作動・取付け状態	仕上げ材等に劣化が部分的に発生しているが機能上問題なし
電灯・電話設備	電灯設備 電気時計 拡声設備 避雷設備 電話設備	60.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
受変電設備	あり	60.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 25 年以上
自家発電設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—

² Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
動力設備	—	00.0	経年（新設後更新後）	—
非常用照明・ 火災報知設備	非常用照明 火災報知設備	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 15 年以上
その他設備	インターホン TV 共同受信 防犯設備等 表示設備	20.0	経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
空気調和・換 気・排煙設備	空気調和設備 換気設備 排煙設備	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 15 年以上
給排水・衛 生・給湯設備	給排水設備 衛生設備 給湯設備	60.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 25 年以上
消火設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—
エレベーター 設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—

(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値				
1989	30	新	—	—	—	—	65 年

経年による劣化は見られるものの、建物に大きな問題が無いとため、福岡県立総合射撃場のエアライフル棟の目標耐用年数を原則どおり 65 年(残年数を 35 年)と設定します。

第4章 対策の内容等

(1) 改修・更新について

築30年で耐用年数を65年と設定しているため、残利用年数は35年となり、計画期間に施設の更新（建替え）を行う予定はありません。

(2) 対策の平準化について

優先順位の考え方に沿って、費用や事務負担軽減等を図る観点から平準化を行い、順次改修を行うこととします。

(3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取組みは以下のとおりとなりますが、取組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことがあります。

		(百万円)		
区分	項目	実施時期		
		令和元～2年度	令和3～5年度	令和6～8年度
主要部仕上げ	屋根・防水、内壁、天井、建具	0	15	25
電気設備	電灯・電話設備、自家発電設備、動力設備、非常用照明・火災報知設備、その他の設備	0	39	9
機械設備	給排水・給湯・ガス設備、空気調和・排煙設備、消火設備、エレベーター	0	0	38
その他	外構	0	0	0
計		0	54	72

※上記は実際の前算や事業費等とは異なります。

福岡県立総合射撃場
スモールボアライフル棟
個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	63
施設所管課	教育庁教育振興部 体育スポーツ健康課

令和2年2月

❀福岡県❀

福岡県立総合射撃場スモールボアライフル棟
個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(1) 対象施設の概要	
	(2) 対象施設の活用状況	
	(3) 計画期間	
	(4) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(1) 施設間の優先順位	
	(2) 施設内での優先順位	
	(3) その他	
第3章	個別施設の状態等	4
	(1) 個別施設の状態	
	(2) 施設の現存率	
	(3) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(1) 改修・更新について	
	(2) 対策の平準化について	
	(3) 対策の内容等	

第1章 概要

(1) 対象施設の概要

対 象 施 設	福岡県立総合射撃場		
所 管	教育庁教育振興部体育スポーツ健康課		
整 理 番 号	63	竣工年度	平成元年度
所 在 地	福岡県筑紫野市大字柚須原223-25		
敷 地 面 積 (m ²)	143,131.27	建築面積 (m ²)	2,410.42
主 構 造	S	延床面積 (m ²)	2,410.42
主 要 建 築 物	管理棟、エアライフル棟、スモールボアライフル棟		

(2) 対象施設の活用状況

建 物 の 名 称	スモールボアライフル棟				
棟 番 ・ 枝 番	1013	-	3	竣工年度	平成元年度
建 築 面 積 (m ²)	777.99		延床面積 (m ²)	777.99	
構 造 ・ 階 数	S造 地上1階				
各 階 面 積 及 び 用 途					
階別	階床面積 (m ²)	主 な 用 途 (室 名 他)			
1F	777.99	スモールボアライフル射撃場等			

福岡県立総合射撃場のスモールボアライフル棟はとびうめ国体開催にあたり、平成元年度に竣工しました。

ライフル射撃の普及振興並びに射撃技術の向上を図り、心身の健全な発達に寄与することを目的とした施設となっています。

(3) 計画期間

計画期間は令和8年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図



②施設写真

全景



第2章 優先順位の考え方

(1) 施設間の優先順位

当該施設は、築30年で目標使用耐用年数である65年に満たないことから、計画期間中の更新は計画していません。他の県有施設と比較して改修等を優先すべき個別事情は特にありませんが、施設を管理していく上で必要な対策を順次適切に行っていきます。

(2) 施設内での優先順位

経年により劣化が進行している設備についても予防保全型管理のうえでの標準的な改修時期に合わせた計画的な改修を行っていきます。

(3) その他

敷地内にはスモールボアライフル棟のほか、管理棟、エアライフル棟があります。

第3章 個別施設の状態等

(1) 個別施設の状態

施設設備の不具合等が発見された場合には事後保全による修繕を行っていますが、予防保全による改修はできていない状況です。

(2) 建物全体の現存率

建築物現存率調査票

施設名称	福岡県立総合射撃場		建物名称	スモールポアライフル棟				
所在地	筑紫野市大字袖須原223-25		棟番・枝番	1013	-	3	築年数	30年
建築年度	平成元年度	建築面積	777.99 m ²	現存率	68.0	想定耐用年数	65年	
構造・階数	S 1	延面積	777.99 m ²					

区分	構成(P)		仕様	経過年数	現象(K)	×100	(PK)	$\frac{\sum PK}{\sum P}$	
構造	躯体	40	S	30	1.000	100.0	4,000.0	-	
	小計						4,000.0	100.00	
主要部仕上げ	屋根・防水	20	その他	30	0.400	40.0	800.0	-	
	外壁	20	塗装、その他	30	0.400	40.0	800.0	-	
		小計						1,600.0	40.00
電気設備	受変電設備	10		30	0.600	60.0	600.0	-	
	小計						600.0	60.00	
機械設備	給排水・衛生・給湯設備	10		30	0.600	60.0	600.0	-	
	小計						600.0	60.00	
合計							6,800.0	68.00	

この結果、福岡県立総合射撃場のスモールポアライフル棟の現存率は「68.0」となります。

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の現存率	判定項目	判定
躯体	S	100.0	耐震診断による Is 値 ³	Is 値が 1.0 以上 もしくは新耐震基準
屋根	その他	40.0	防水層からの漏水 またはその痕跡	—
			防水層の劣化	—
			経年（新設もしくは改修後）	経年 20 年以上
外壁	塗装 その他	40.0	外壁のはく落、浮き、 ひび割れ等の劣化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に多くの劣化がある ・ 少数の部材にも多くの劣化部分がある ・ 大規模修繕が必要
			漏水の発生・痕跡の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に多くの劣化がある ・ 少数の部材にも多くの劣化部分がある ・ 大規模修繕が必要
内壁	石こうボード EP	40.0	劣化	仕上げ材等の劣化が 広範囲にあり、部分修繕が必要
天井	化粧石こうボード	40.0		
床	ビニールシート張り	40.0		
建具	アルミ 木製	70.0	劣化	仕上げ材等の劣化が多く認められるが、 部分修繕で対応可能
			開閉作動・取付け状態	仕上げ材等に劣化が部分的に発生しているが機能上問題なし
電灯・電話設備	電灯設備 電気時計 拡声設備 避雷設備 電話設備	60.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 20 年以上

³ Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
受変電設備	あり	60.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 25 年以上
自家発電設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—
動力設備	—	00.0	経年（新設後更新後）	—
非常用照明・ 火災報知設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—
その他設備	インターホン TV共同受信 防犯設備等 表示設備	20.0	経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
空気調和・換 気・排煙設備	空気調和設備 換気設備 排煙設備	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 15 年以上
給排水・衛 生・給湯設備	給排水設備 衛生設備 給湯設備	60.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 25 年以上
消火設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—
エレベーター 設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—

○特殊設備の状態

調査部位	種類・形式等	現在の状況
クレー放出器		・経年劣化により、クレーが正確に飛ばないことがあり、その都度調整するため、大会運営に支障をきたしている。
標的巻き上げ機		・複数台の標的巻き上げ機が故障して動かない状況で大会運営に支障をきたしている。

(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値				
1989	30	新	—	—	—	—	65 年

経年による部分的な劣化は見られるものの、建物に大きな問題が無いため、福岡県立総合射撃場のスモールボアライフル棟の目標耐用年数を原則どおり 65 年 (残年数を 35 年) と設定します。

第4章 対策の内容等

(1) 改修・更新について

築30年で耐用年数を65年と設定しているため、残利用年数は35年となり、計画期間に施設の更新（建替え）を行う予定はありません。

(2) 対策の平準化について

優先順位の考え方に沿って、費用や事務負担軽減等を図る観点から平準化を行い、順次改修を行うこととします。

(3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取組みは以下のとおりとなりますが、取組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことがあります。

		(百万円)		
区分	項目	実施時期		
		令和元～2年度	令和3～5年度	令和6～8年度
主要部仕上げ	屋根・防水、内壁、天井、建具	0	0	43
電気設備	電灯・電話設備、自家発電設備、動力設備、非常用照明・火災報知設備、その他の設備	0	18	10
機械設備	給排水・給湯・ガス設備、空気調和・排煙設備、消火設備、エレベーター	0	4	18
その他	クレー放出器等	0	27	0
計		0	49	71

※上記は実際の予算や事業費等とは異なります。